

---

---

# 大和小学校

---

---

## 「学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成」

～地域を学び 地域に学び 地域と学ぶ授業の創造を通して～

### I 研究の内容

#### 1 「伝え合い交流する」ことをより充実させる授業づくり

##### (1) 研究授業及び研究会

第4学年 道徳「郷土のよさを見直そう」 授業者 吉本 賢司 教諭

##### (2) 実践授業及び振り返り

第1学年 道徳「温かい心で親切に」 授業者 鈴木奈津美 教諭

第2学年 国語「せつめいのしかたに気をつけて読もう」

授業者 飯室 美華 教諭

第6学年 理科「てこのはたらき」

授業者 田邊 博幸 教諭

ひまわり学級 第5学年 算数「分数をくわしく調べよう」

授業者 幡野 成実 教諭

#### 2 コミュニティ・スクールに関する取組

##### (1) 地域学習の単元構想計画の見直しと充実

- ・コミュニティ・スクールに関する単元構想表の活用・見直し・充実
- ・コミュニティ・スクールに関する学習ボランティアリストの活用・充実

##### (2) 成果学習発表会

- ・地域学習で学んだことの発表
- ・文化的活動の発表

#### 3 意欲的に学ぶ学習集団づくり

##### (1) 学習規律の確立

- ・「大和小学習のきまり」の見直しと定着
- ・学習規律に関するアンケートの実施と分析

##### (2) Q-U 調査の分析と対策

- ・年2回 Q-U 調査の実施
- ・K-13 法による分析と対策

#### 4 学びの基盤となる学習環境づくり

##### (1) 家庭学習習慣化の取組

- ・自主学習の取組についてのアンケート実施
- ・自主学習掲示板による自主学習の紹介
- ・自主学習強化週間の実施，家庭学習の必要性などについて家庭への啓蒙
- ・大和小自主学習スタンバイの確立

## II 成果と課題

### 1 授業づくりに関わって

研究授業や実践授業を通じて、「伝え合い交流する」ための具体的な学習活動として「自分の考えを記述する」活動を授業に取り入れ実践してきた。

研究授業では、身近なテーマを取り上げ、地域の学習ボランティアであるゲストティーチャーと連携することで、テーマについて今まで以上に深く考えることができた。実践授業では、ペアやグループ等を取り入れた学習形態の工夫、ワークシートやホワイトボードの活用、話し合いのルールの提示等、様々な方法を使う授業を行った。それぞれの児童の実態にあった指導の工夫や手立てについて学び合うことができた。お互いの考えを深め合うことや、交流するという点に関しては、まだ十分とは言えないので、これからも継続して取り組んでいきたい。

### 2 コミュニティスクールに関する取組に関わって

昨年度作成した単元構想表、学習ボランティアリストを活用できたこと、さらに充実させられたことは大きな成果であった。地域の方との学習を通じた交流の中で学んだことを発表する成果発表会は、児童が地域のよさを伝えるという目的をもち、相手意識をもちながら活動に取り組むことができた。

### 3 学習集団づくりに関わって

QU検査を行い、K13法を全職員で行ったことで、全学年の実態を知り、問題点に対して様々な視点から解決法を探ることができた。小規模校のよさを活かし、全職員が共通理解したうえで、同じ歩調で指導にあたることができた。また、ヘルプサインポジティブチェックにより、個への対応を細かく考えることができた。

大和小学習のきまりについては、今年度、児童評価の方法を見直し、評価規準を設けたので、児童がよりわかりやすく、意識して取り組むことができた。今後も継続して取り組んでいきたい。

### 4 学習環境づくりに関わって

自主学習強化週間で、担任以外の先生に自主学習ノートを見ていただく機会を設けたことで、児童の関心や意欲が高まった。自主学習スタンバイの時間の取組としては、「生活ノート」に自学内容を記入するようにした。多くの児童が家庭での自主学習をスムーズに進めることができた。取組には個人差があるため、個に応じた指導が必要である。

## III 成果物

研究授業、実践授業の授業案（ワークシート等も含む）

単元構想表、学習ボランティアリスト

（研究主任 飯室 美華）